

いた ばし い せき はな まき し おおはさままち なん とう ぶ
板橋遺跡は、花巻市大迫町の南東部に位置します。
花巻市大迫^{そうごう し しょ}総合支所から南東へ約 7.3km、八木^{や ぎ}巻川^{まき がわ}上
流^{だんきゅうめんじょう}の右岸段丘^{りっ ち}面上に立地しています。

この遺跡では、昭和 30 年代から多数^{じょうもん じ だい}の縄文時代の
遺物^{い ぶつ}が発見されていたものの、その^{はん い}範囲や内容は長ら
く不明でした。平成 3 年度に大迫町内遺跡発掘調査事
業の一環として、大迫町教育委員会によって遺跡の^{はん い}範囲
確認調査^{じっ し}が実施されました。

この調査により、縄文時代中期^{ちゅう き}（約 5,000 ～ 4,000
年前^{たて あな たて もの あと}）の^{とう}竪穴建物跡^{こう き} 1 棟、縄文時代後期（4,000 ～
3,000 年前）の^{ばん き}竪穴建物跡 3 棟が確認されました。出
土遺物は、縄文時代後期から^{ばん き}晩期（約 3,000 ～ 2,300
年前）のものが中心で、^{ど き}土器^{せつ き}、石器^{ど ぐう}、土偶^{ど せい ひん}、土製品、
^{せき せい ひん}石製品^{ふく}などが含まれます。土器の中では、^{き めん}器面^{ねん ど}に粘土
の粒^{つぶ}を^は貼り付けて^{そうしよく}装飾した縄文時代後期後葉の「コブ
付土器」が多く見付き、中には、岩手県内でも出土
例^{みず さしがた}が少ない「水差形土器」と呼ばれる^{ちゅうこう}注口土器もあり
ました。

板橋遺跡は、土器、
土偶、土製品、石器、
石製品^{た よう}といった多様
かつ^{ほう ふ}豊富な遺物が出
土した、^{ひ じょう}非常に^{きちょう}貴重な
遺跡です。



水差形土器出土状況（1991 年度調査）